

## (11) 沖縄



沖縄地域では、景気は緩やかに回復している。

- ・ 観光は増加している。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている。

前回調査からの主要変更点

なし。

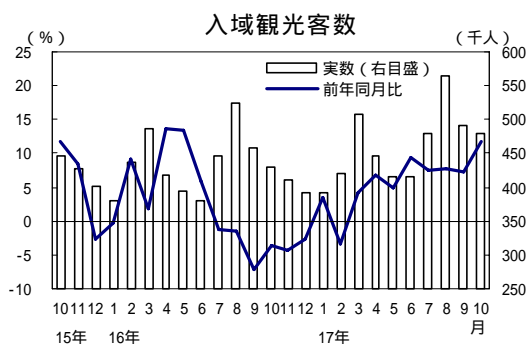
### 1. 観光及び企業動向

(1) 観光は増加している。

入域観光客数は、7月は、使用機材の大型化による提供座席数の増加、羽田 - 那覇間の深夜定期便の運航などから前年を上回った。8月は、関西、伊丹、名古屋の航空路線の増便や、夏休み期間の輸送実績が好調だったことから前年を上回った。9月は、関西路線の増便や、札幌、名古屋路線における使用機材の大型化、下旬にあった3連休の日並びの良さ、台風の影響が少なかったことなどから前年を上回った。10月は、台風などの自然災害の影響が前年より少なかったことや、航空路線の増便や使用機材の大型化による提供座席数の増加、修学旅行生の増加などから前年を上回った。

なお、7、8、10月は過去最高を記録し、引き続き高い水準で推移している。

7～9月期における主要ホテルの客室稼働率については、入域観光客数の増加を背景に、リゾートホテル、那覇市内のホテルともに前年を上回った。



### 入域観光客数等の動向

(単位: 千人、%)

	16年10-12月	17年1-3月	4-6月	7-9月
入域観光客数	1,230	1,320	1,278	1,534
(前年比)	3.5	1.4	6.9	7.5
ホテル稼働率(前年差)	7.5	3.4	2.0	2.7

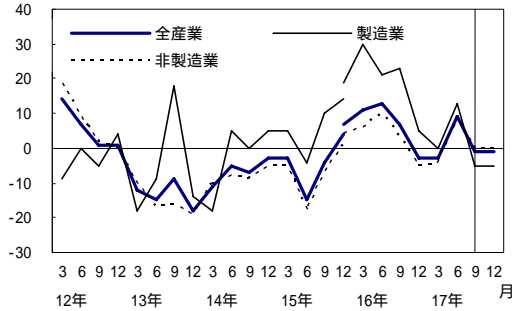
(備考) 1. 入域観光客数は沖縄県観光リゾート局調べ。

2. ホテル稼働率は日本銀行那覇支店調べ。

(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超に転じ、資金繰り判断は「楽である」と「苦しい」とが同数となっている。

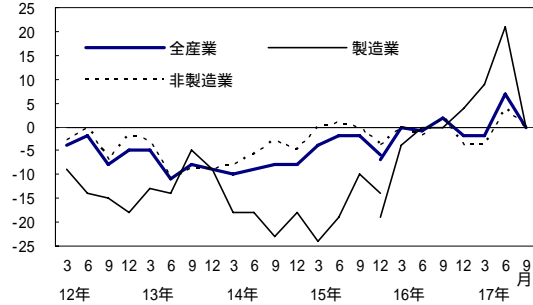
#### 企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査

(%ポイント) 企業短期経済観測 [業況判断]



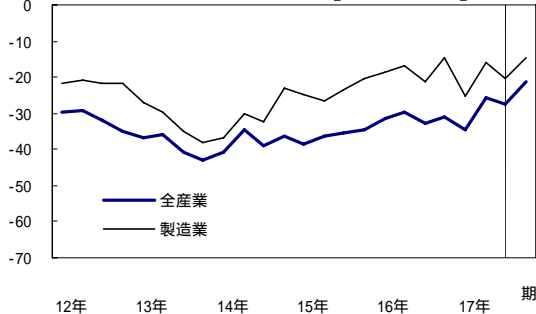
(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。17年12月は予測。  
15年12月は新・旧基準を併記

(%ポイント) 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。  
15年12月は新・旧基準を併記

(%) 中小企業景況調査 [業況判断]



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。17年 期は見通し。  
九州地区のD.I.

#### 景気ウォッチャー調査(10月)[企業動向関連(現状)]

「問い合わせや、成約件数が横ばいである(不動産業)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

(3) 17年度の設備投資は前年度を大幅に下回る計画となっている。

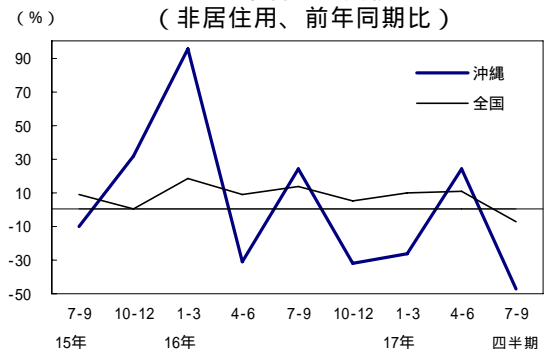
企業短期経済観測調査 [設備投資(9月調査)]

(前年度比、%)

	16年度実績	17年度計画
全産業	17.6	24.0( 3.6)
製造業	9.7	25.7( 1.9)
非製造業	18.5	29.1( 4.6)

(備考)( )は前回(6月)調査比修正率。石油・電力を除く。

建築着工床面積  
(非居住用、前年同期比)



## 2. 需要の動向

### (1) 個人消費は持ち直しの動きがみられる。

百貨店販売額、スーパー売上高、家電卸出荷額及びコンビニエンスストア販売額

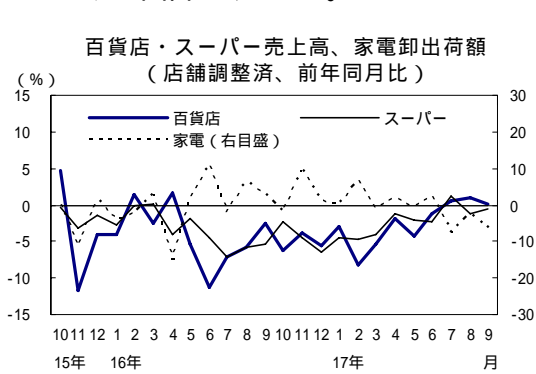
百貨店は、7月は衣料品、身の回り品が不調だったものの、お中元需要から食料品が好調だったことにより前年を上回った。8月は、昨年の台風多発による反動増や、衣料品が好調だったことから、前年を上回った。9月は、衣料品が前年を下回ったものの、好天候に恵まれたことや、物産展等の催事効果により食料品が好調だったことから、前年を上回った。

スーパーは、昨年多発した台風の反動から食料品や家庭用品が比較的好調であったが、競合店の影響等により、全体としては前年を下回った。

家電は、薄型液晶テレビやデジタルカメラ、エアコンが好調であったが、前年に新設した大型量販店の反動減により、前年を上回った。

景気ウォッチャー調査(10月)[家計動向関連(現状)]

「客単価は下がっているが、来客数が増加しているため売上は上がっている(コンビニ)」など、「やや良くなっている」とする回答が多くみられた一方で、「軽自動車、小型自動車は好調だが、当社の主力車種の普通自動車は不調である(乗用車販売店)」など「変わらない」とする回答もみられた。



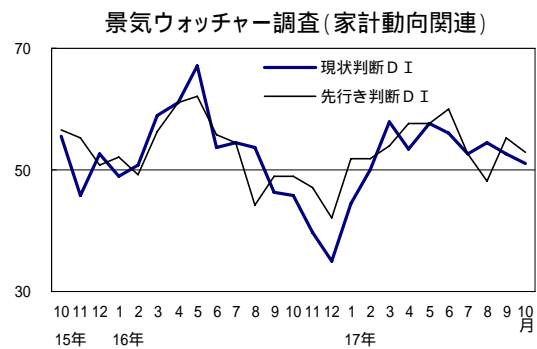
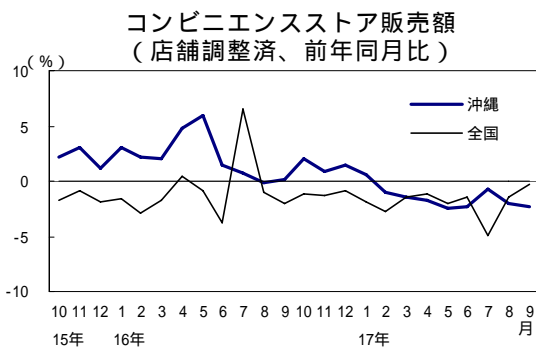
(前年同期比、%)

	16年10-12月	17年1-3月	4-6月	7-9月
百貨店	5.2	5.5	2.5	0.6
スーパー	4.6	4.4	1.9	0.2
家電卸出荷額	2.6	0.2	1.2	5.7
コンビニ	1.4	0.6	2.2	1.7
景気ウォッチャー	40.2	50.8	55.7	53.3

(備考) 1. 百貨店、家電は沖縄銀行調べ。

2. スーパー、コンビニは日本銀行那覇支店調べ。店舗調整済。

3. 景気ウォッチャーは家計動向関連の現状判断DIの3か月平均。



### (2) 住宅建設は増加している。

持家が前年を下回ったものの、貸家、分譲が上回ったことから全体では増加している。

### (3) 公共投資は17年度累計で見ると前年度とほぼ同水準となっている。

